

令和2年最終戦！惜しくも…

SBC 4 対 5 某MS

会心の当たり 押川

令和2年11月28日、東邦スタジアムにてSBC対某MSの練習試合が行われた。約1ヶ月ぶりの練習試合となったSBCは、1回の裏に先制点を許したが、2回の表、西田の内野ゴロの間に2点を取り逆転に成功。その後、相手に逆転を許し迎えた最終回。押川の2塁打や大野のタイムリーヒットで2点を取り返したが、惜しくも同点・逆転する事は出来なかった。

チームMVP 木原

SBCのメンバーであれば異論は無いであろう。今回のMVPは間違い無く、木原である。打っては2安打を放ち、守ってはファーストの守備で華麗なフィールディングを見せた。そして、我々の胸を熱くしたのが最終回の1塁への激走である。アウトになれば試合終了の場面であったが、「アウトになってたまるか！」と1塁へ激走し、セーフをもぎ取った。今年の日本シリーズでベテラン野手が1塁にヘッドスライディングしたシーンがあり、世間でも話題になったが、筆者の目にはそのシーンが重なって見えた。もちろん、心を揺さぶられたのは筆者だけではない。事実、その後、2点を取り返す口火になったのだ。



前回の試合では4番を打っていたが、今回の試合は6番に打順が下がってしまった。チーム事情の為、2試合連続フルイニングで捕手を任せられた。捕手といえばどのポジションよりもボールをさばき、配球や指示出し、休む暇なんて全くない。そんな彼に「打撃でも活躍しろ！」とは厳しい意見だったのかもしれない。が、今回の押川は違った。迎えた最終回、豪快なスイングとともにボールは右中間を真っ二つに切り裂き、チーム唯一の長打となる2塁打を放った。今回の1打は4番に返り咲く強烈なアピールになったに違いない。

今回の総



今回程、誰の記事を書くか迷ったことは無い。各人、随所に光る部分があり、可能性を秘めたメンバーがいることがわかった。令和2年はこれが最終戦となってしまったが、今年の反省を活かしつつ、来年は各人のレベルアップに期待したい。そして、久しぶりの「勝利」にも期待したい。

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
SBC	0	2	0	0	0	0	2	4
某MS	1	0	0	0	2	2	0	5

[投手成績]

* 床島⇒富永

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	4回	1	1
富永	2回	1	4

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球
1	左	外林	4	2	0	0
2	二	西田	4	1	2	0
3	中	富永	4	1	0	0
4	投	床島	4	2	0	0
5	遊	(助っ人1)	4	0	0	1
6	捕	押川	4	1	1	1
7	一	木原	3	2	0	0
8	三	(助っ人2)	3	0	0	1
9	右	久保野	2	1	0	0
		大野	2	1	1	0
		大村	1	0	0	0
		樋口	1	1	0	0
		落合	2	0	0	0

【☆マネージャー大・大・大募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

* 野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。